

# 1号機 ガレキ撤去作業時の ガレキ落下防止・緩和対策の進捗状況（SFP養生の設置）

2020/5/22

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

## 1. はじめに

- 南側崩落屋根等の撤去に際し、屋根鉄骨・ガレキ等が使用済燃料プール（以下、SFP）等へ落下するリスクを可能な限り低減するため、以下のガレキ落下防止・緩和対策※を実施する。

※ ①SFP養生

➤ 屋根鉄骨・小ガレキ等がSFPに落下した際に燃料等の健全性に影響を与えるリスク低減

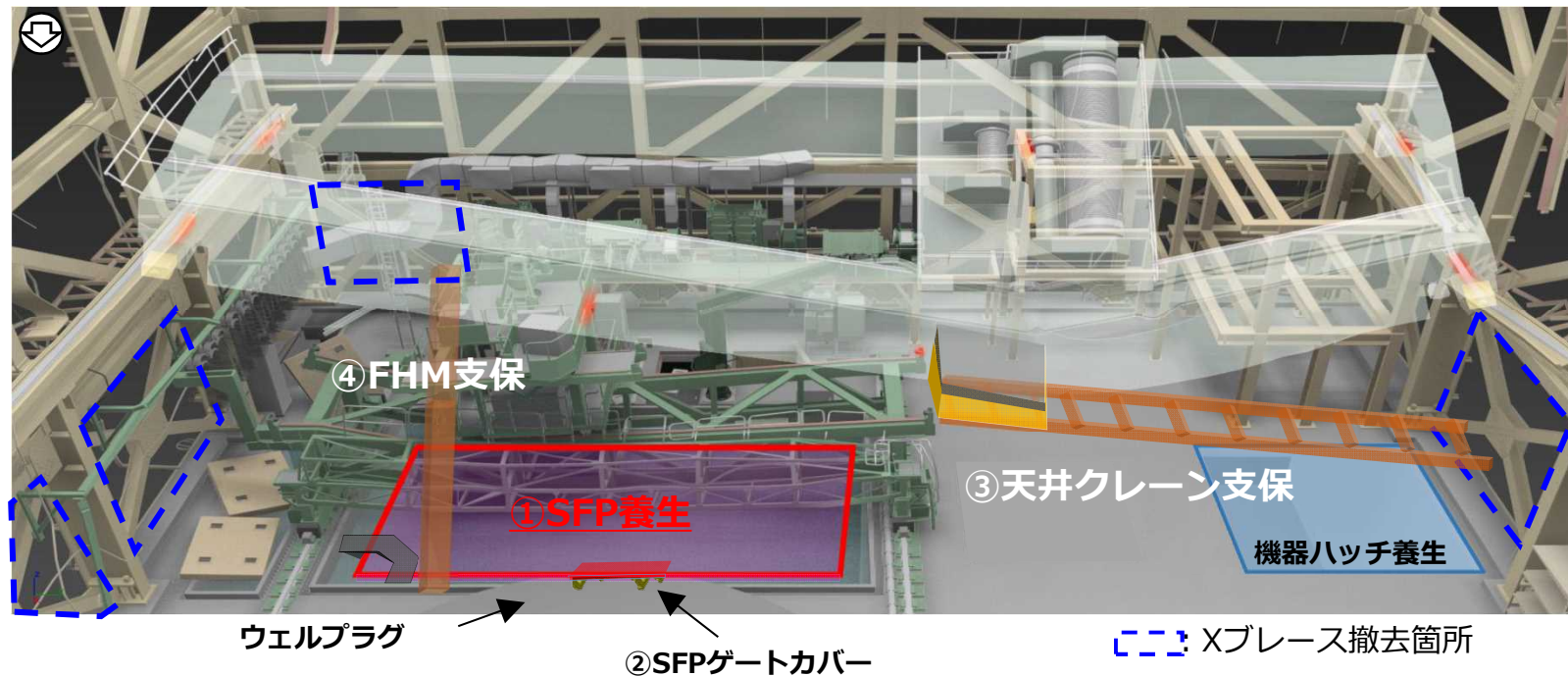
②SFPゲートカバー（2020年3月設置完了）

➤ 屋根鉄骨・小ガレキ等がSFPゲート上に落下した際のSFPゲートのずれ・損傷による水位低下リスクを低減

③天井クレーン支保、④FHM支保

➤ 屋根鉄骨・小ガレキ等撤去により、天井クレーン/燃料取扱機（以下FHM）の位置ずれや荷重バランスが変動し天井クレーン落下に伴うダスト飛散のリスク及び燃料等の健全性に影響を与えるリスク低減

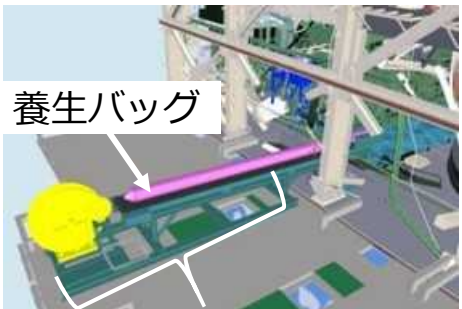
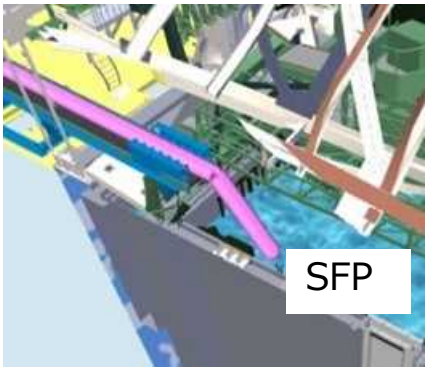
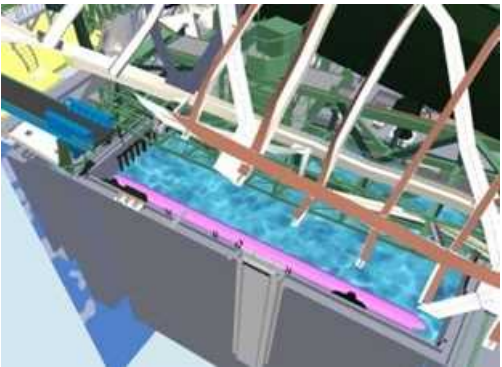
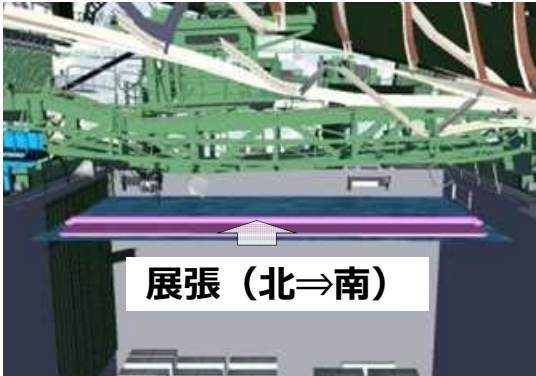
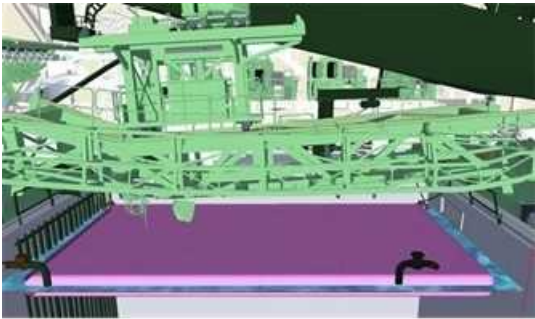

- この内、SFP養生の設置準備を3月より実施しており、設置作業を6月から実施予定。



図：ガレキ落下防止・緩和対策の概要

## 2. SFP養生設置概要

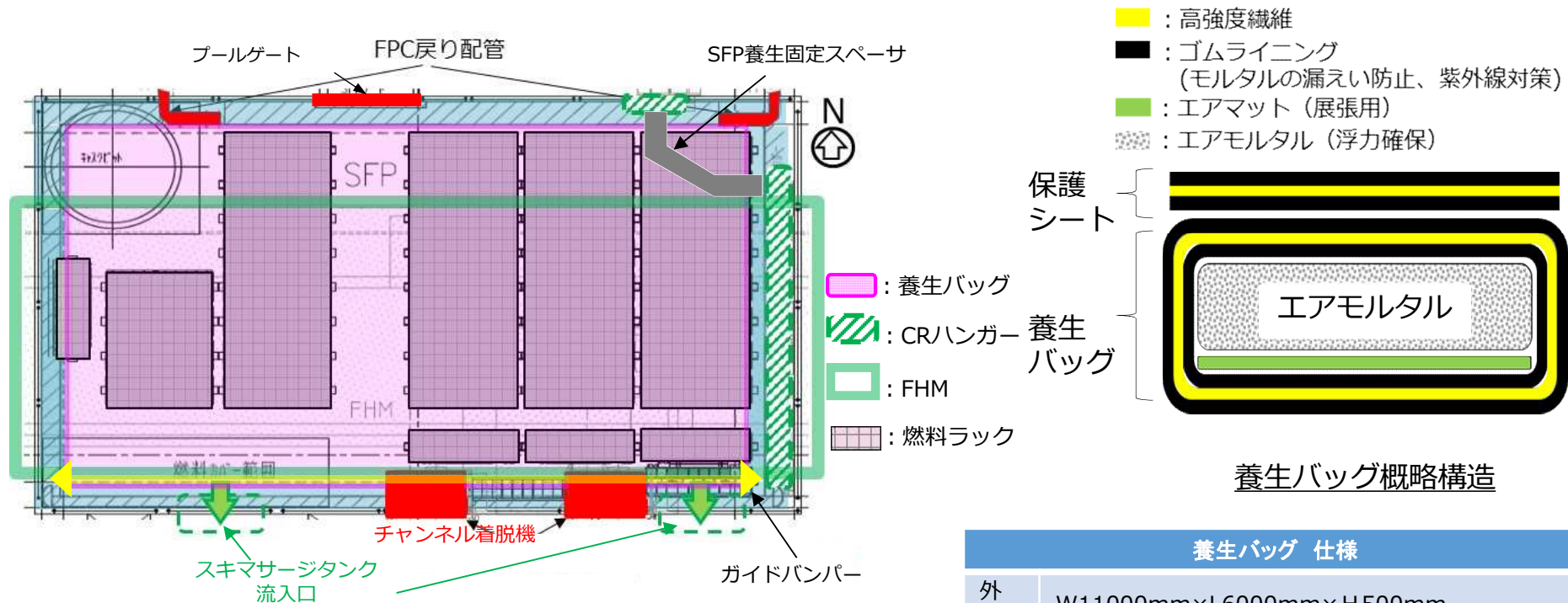
- 原子炉建屋東側に設置した作業床に養生バッグ投入装置を設置し、巻物状にした養生バッグをSFPに投入（①～③）。投入完了後に養生バッグを空気で展張させ（④）、展張後にエアモルタルを注入して設置完了（⑤）。

<p>①養生バッグ設置</p>  <p>養生バッグ</p> <p>バッグ投入装置 (東作業床)</p>	<p>②バッグ投入 (開始)</p>  <p>SFP</p>	<p>③バッグ投入 (完了)</p> 
<p>④バッグ展張</p>	<p>⑤エアモルタル注入・設置完了</p>	<p>配置イメージ</p>
 <p>展張 (北⇒南)</p>		 <p>ウェルプラグ</p> <p>投入装置</p> <p>SFP</p> <p>養生バッグ</p> <p>西作業床</p> <p>東作業床</p> <p>南作業床</p>

2020年4月30日  
 廃炉・汚染水対策  
 チーム会合より抜粋

### 3. 養生バッグ概要

- 養生バッグは底部に展張用エアマット、その上にエアモルタルを充填するモルタル室となっている。養生バッグ上部はガレキ落下時の保護を目的とした保護シートで覆われている。
- エアモルタルの充填・硬化完了後、養生バッグ北東コーナーにスペーサーを設置することにより、南側は既存チャンネル着脱機、西側はガイドバンパーがSFP壁面に接触し、SFP内の燃料を覆う形で固定される。

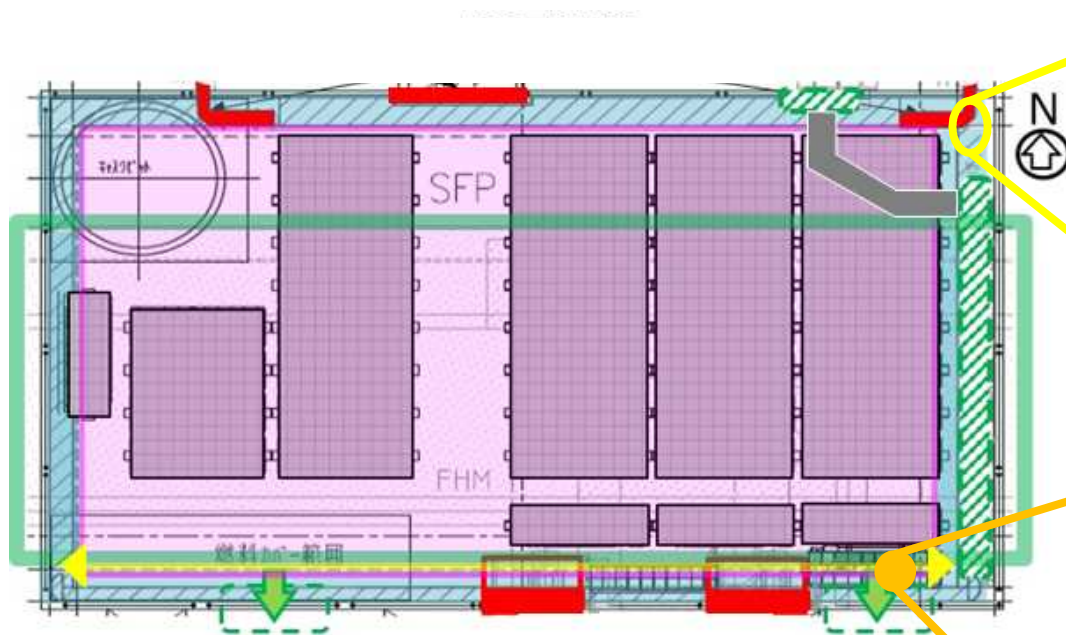


養生バッグ配置図

養生バッグ 仕様		
外形	W11000mm×L6000mm×H500mm	
材質	外装	高強度繊維 バッグ3層+保護シート (上面) 6層
	充填材	エアモルタル (セメント材+水+空気)

#### 4. SFP養生設置に伴う、SFP水位の低下作業について

- 養生バッグ展張時、養生バッグがFHM下端部に接触するリスクを避ける為、SFP水位を約500mm低下させる。
- SFP南東側スキマサージタンク流入口に排水ポンプ設置し、スキマサージタンクへ排水することで、水位を低下させる。
- 水位低下時は、仮設水位計（正）及び水位計に設置したスケール（副）により水位監視を行い、安全に作業を実施する。



水位計及び排水ポンプ配置図



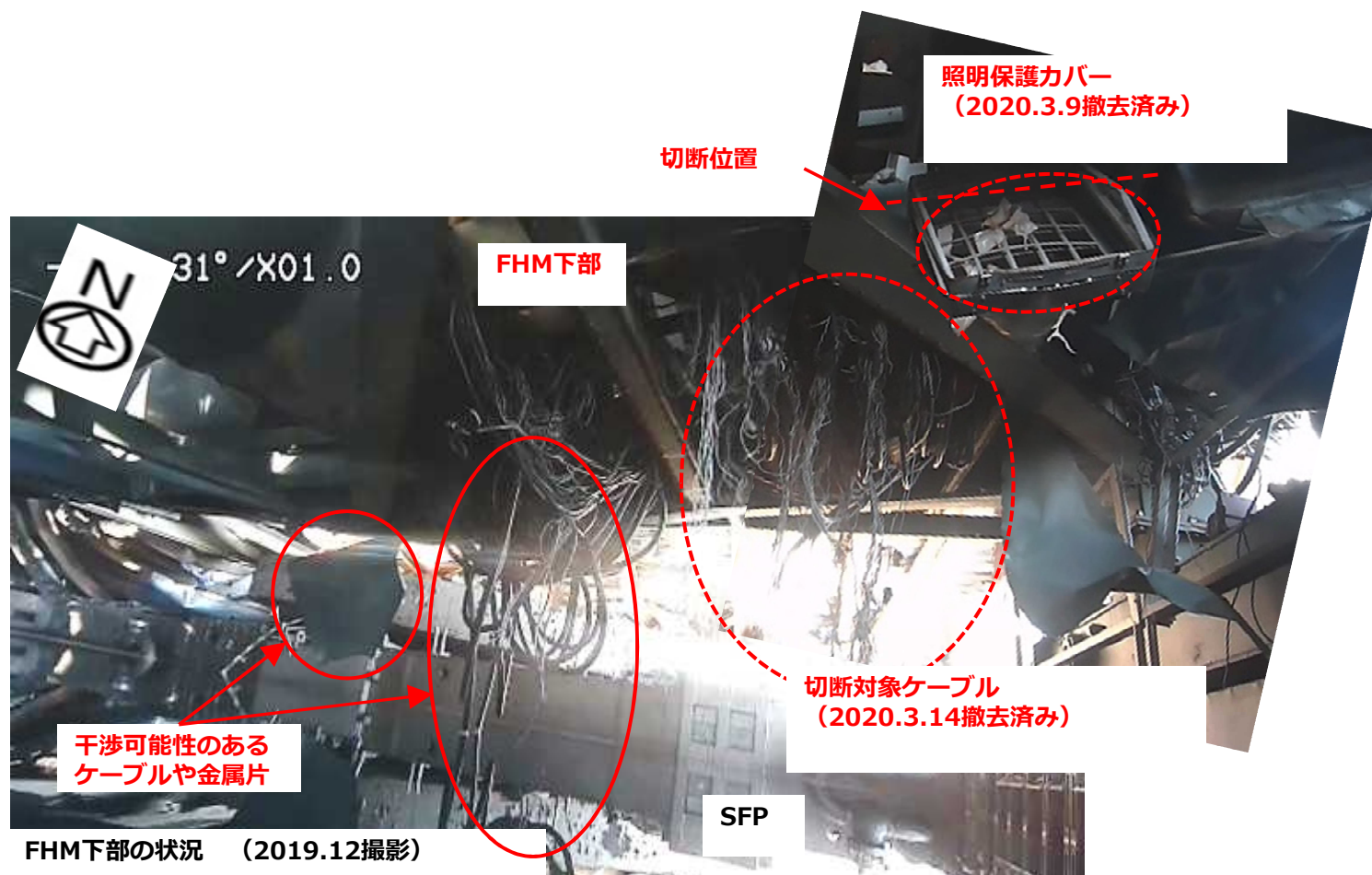
仮設水位計概要



排水ポンプ設置概要

## 5. SFP養生設置に伴う、SFP水位の低下作業の必要性について

- オーバーフロー水位で養生バッグを展開した場合、養生バッグがケーブル等に干渉する恐れがある為、予め水位を下げる計画としている。



南側からSFP及びFHM下部をのぞいた状況

## 6. SFP水位の低下作業について

- SFPの水位を低下させるにあたり、福島第一原子力発電所、特定原子力設備に係る実施計画Ⅲ 特定原子力設備の保安（以下、実施計画Ⅲ）第1編第20条（使用済燃料プールの水位及び水温）で定める運転上の制限の内、以下項目を満足しなくなる。

項目	運転上の制限
使用済燃料プールの水位	オーバーフロー水位付近にあること

尚、「水温：60℃以下」について、温度評価を行い作業期間中SFP水温が60℃を超えないことを評価。

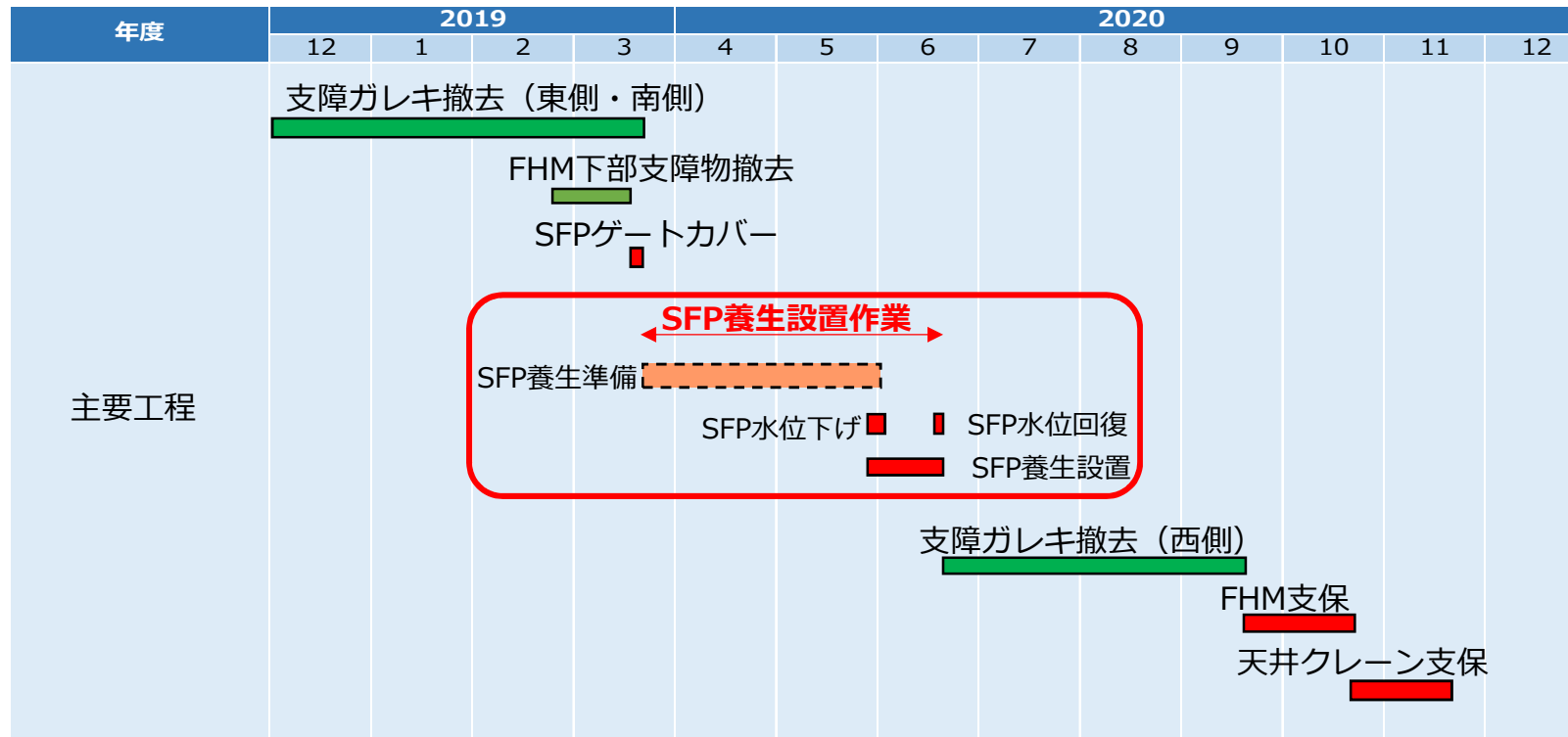
- 実施計画Ⅲ第1編第32条（保全作業を実施する場合）を適用し、以下「必要な安全措置」を実施することで、計画的に作業を実施する。

項目	必要な安全措置
使用済燃料プールの水位	使用済燃料プールの水位を低下させた後速やかに、及びその後使用済燃料プールの水位を回復させるまでの期間毎日1回、使用済燃料プールの水位を記録し、異常な水位低下がないことを確認する

- 仮設水位計（正）、水位監視用カメラ（副）による遠隔での水位監視を行い、1日に1回の記録確認を実施する。
- 遠隔での水位監視に不具合を生じた場合は、作業床より直接目視での水位確認を実施する。
- 水位の異常な低下が認められた場合、または水位監視不可（遠隔・直接共に）となった場合、「運転上の制限逸脱」と判断し、速やかに水位回復の措置を講ずる。

## 7. スケジュール

- SFP養生設置に向け、3月より準備作業を実施しており、5月下旬より設置作業を実施予定。
  - 実施にあたっては、事前にトレーニングを行い万全な体制を整えた上で、安全最優先に作業を実施する。
    - 5/29：SFP循環冷却を停止
    - 5/30～6/2：SFPの水位の低下操作（5/30、実施計画Ⅲ第1編第32条適用開始）
    - 6/3～6/18：SFPの水位を低下させた状態でSFP養生を設置
    - 6/18：SFP水位回復、循環冷却再開（実施計画Ⅲ第1編第32条適用終了）
- 尚、養生設置作業の手順として、エアモルタル充填前に水位を250mm回復させる。（6/10）



※各工程にはトレーニング、準備期間含む。 上記スケジュールは、工事進捗や天候等により変更となる可能性あり。



## 【参考】 SFP養生バッグ設置作業モックアップ試験

- 投入作業性試験：投入装置を用いて養生バッグを模擬プールに投入(①～③)
- 展張試験：養生バッグを模擬プールに投入しエアにより展張(④, ⑤)
- 充填試験：養生バッグを展張させた状態からエアモルタルを充填(⑥)

①養生バッグ投入



②バッグ着水



③バッグ投入完了



④IAによる展張開始



⑤展張完了



⑥IAモルタル注入後



# 6号機 新燃料曲がり燃料棒の復旧について

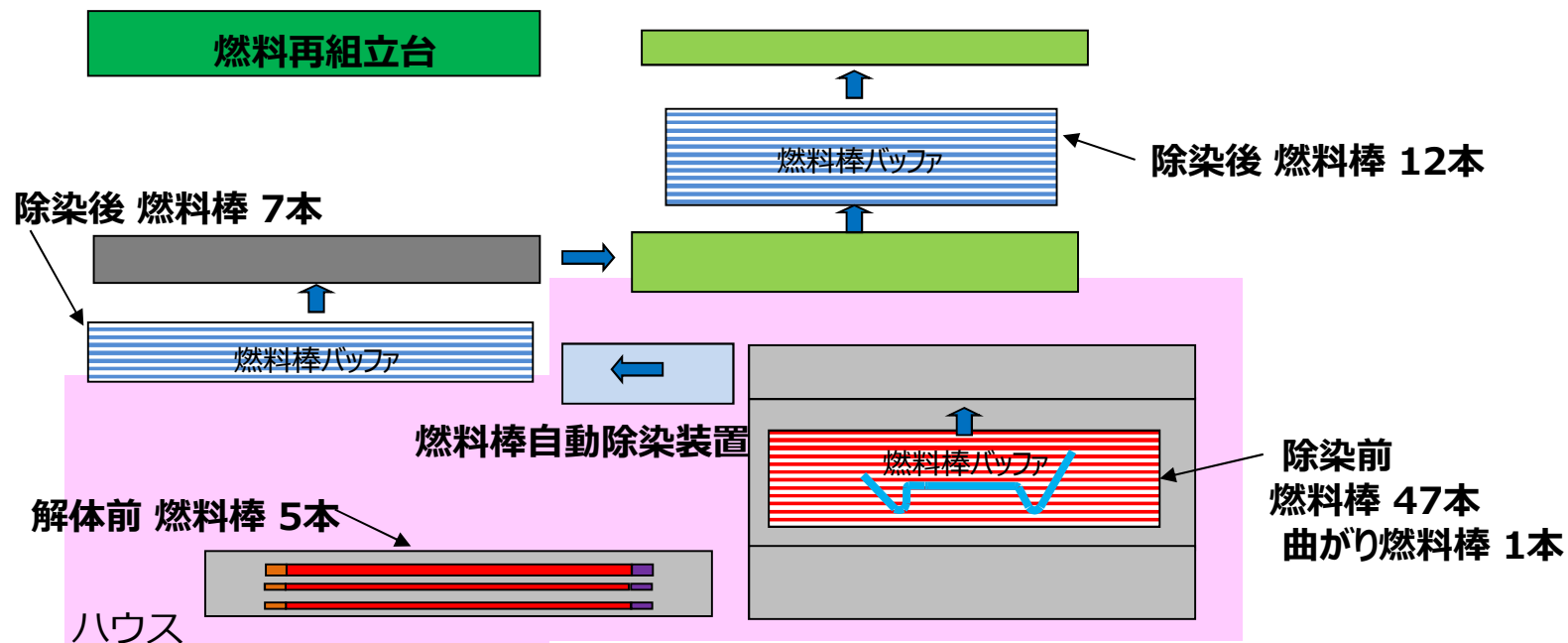
2020年5月22日



東京電力ホールディングス株式会社

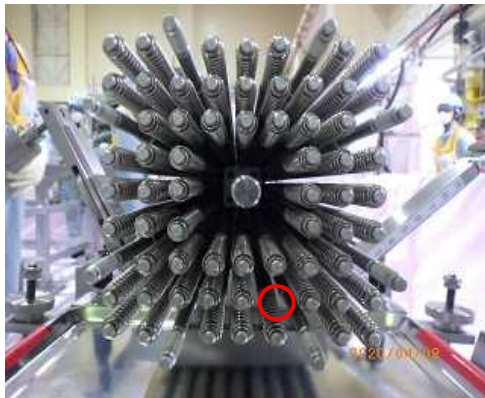
## 1 仮置き燃料棒の燃料集合体への復旧

- ▶ 当該燃料集合体は、除染／再組立作業の中断により、燃料棒72本がバラバラの状態でおペフロに仮置き状態が長期化していた。（2019年11月25日～）
- ▶ 2020年4月 仮置き燃料棒（「健全燃料棒71本」と「曲がり燃料棒1本」）の除染／再組立を実施し、燃料集合体形状で新燃料貯蔵庫へ収納（貯蔵）した。



## 2 健全燃料棒（71本）の燃料集合体への復旧

- ▶ 曲がり燃料棒の曲げ戻し作業を安全に実施するため、健全棒（71本）の除染・再組立を先行した。
- ▶ 4月8日～9日 曲がり燃料棒1本が抜けた状態で、健全棒71本を除染・再組立を実施し、燃料集合体形状で燃料貯蔵設備（新燃料貯蔵庫）に収納（貯蔵）した。



燃料棒の挿入



上部タイプレートの取り付け

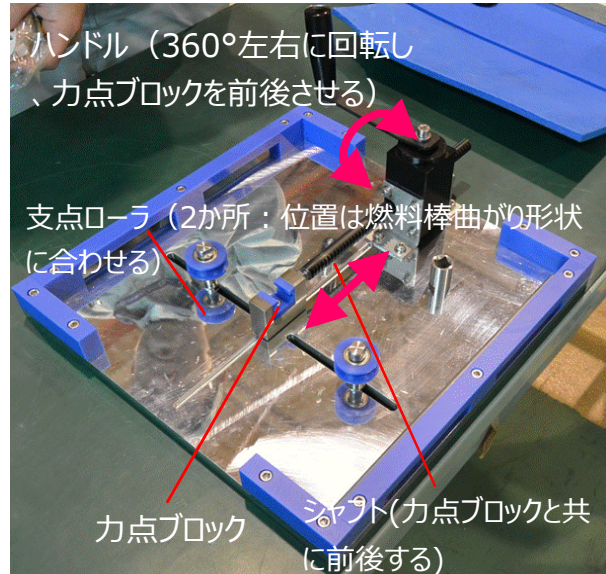


新燃料貯蔵庫の収納

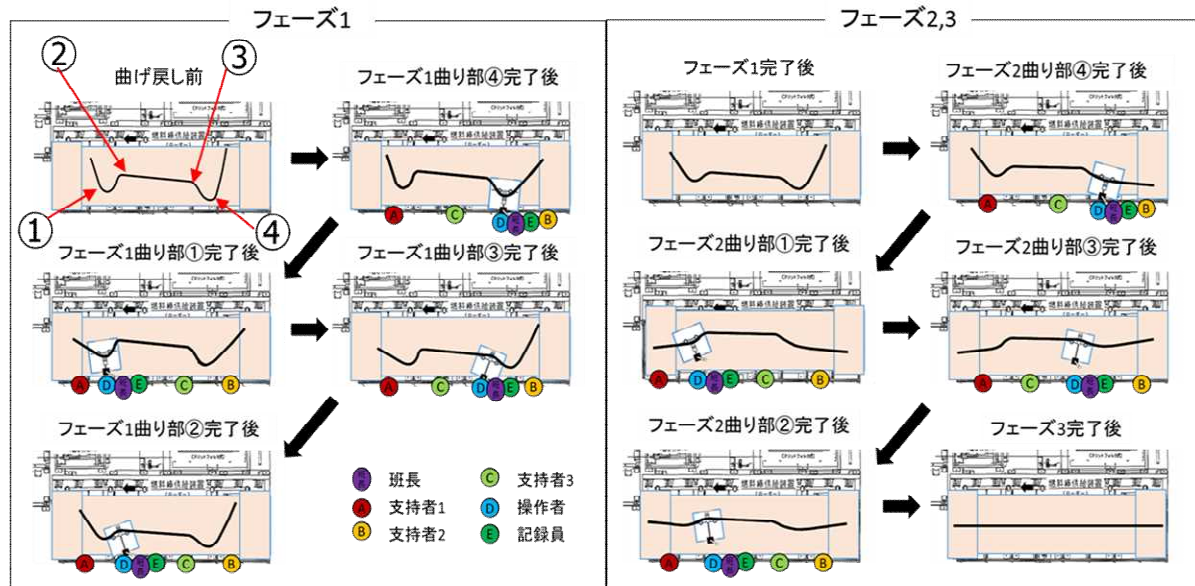
- ▶ 赤丸部分の燃料棒（曲がり燃料棒）が抜けている。
- ▶ 健全燃料棒（71本）を燃料集合体に組み込み新燃料貯蔵庫に収納（貯蔵）した。




### 3 曲がり燃料棒の「曲げ戻し」と「燃料集合体への復旧」

- 4月22日～24日、27日 曲がり燃料棒の曲げ戻し作業を実施した。
- 曲げ戻しは、4ヶ所の曲がり部分（①～④）を3つのフェーズに分け、専用治具を用いて徐々に曲げ戻した。（下図 参照）
- 曲げ戻し後、手作業による除染、局所変形部検査、真直度検査、外観・汚染検査を実施（合格）。
- 曲げ戻した燃料棒（1本）を71本健全棒が挿入された燃料集合体に挿入、新燃料貯蔵庫に収納（貯蔵）した。



曲げ戻し専用治具

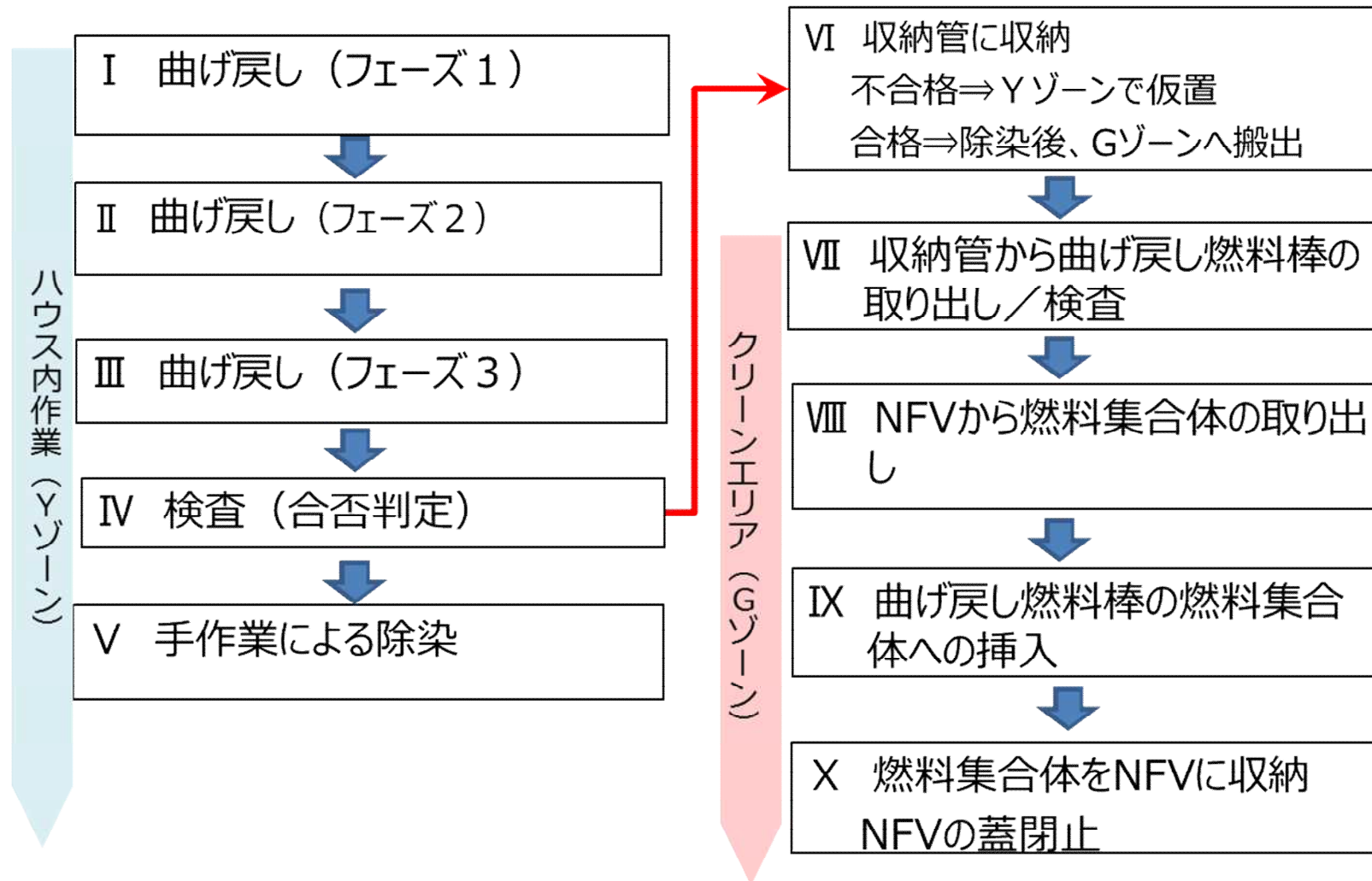


項目	2020年度			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
天井クレーン点検				
新燃料 除染・再組立	 曲げ戻し		 NFV15体	

- \* 2020年度は、新燃料貯蔵庫（NFV）内の15体を実施予定。
- \* 2021年度は、使用済み燃料プール（SFP）内の11体を実施予定。
- \* 所外搬出は、2021年度以降を予定。（検討中）

## 【参考】 曲げ戻し作業フロー

- 燃料棒の曲げ戻し作業の目的
  - ・安全に燃料棒の曲げ伸ばし作業を実施すること。
  - ・曲げ伸ばした燃料棒の健全性を確認し、燃料集合体に組み込み、もしくは収納管に収納する。



【参考】 曲げ戻し作業写真 (1/3)



曲げ戻しフェーズ1



曲げ戻しフェーズ2完了



曲げ戻し完了



除染作業



局所変形部検査  
(リングゲージ)



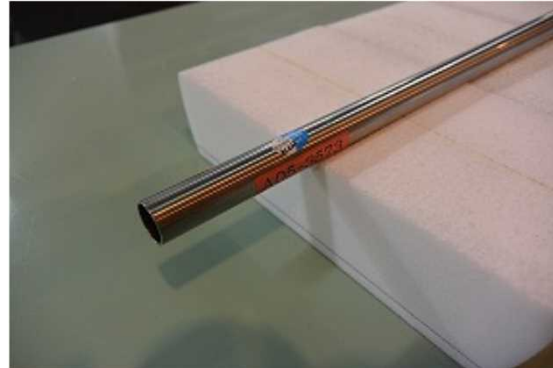
リングゲージ



【参考】 曲げ戻し現場写真 (2/3)



真直度検査  
(真直度検査管)



真直度検査管



外観・汚染検査



収納管に挿入



ハウス外へ搬出



曲げ戻し燃料棒の挿入

# 【参考】 曲げ戻し現場写真 (3/3)



挿入後の曲げ戻し燃料棒

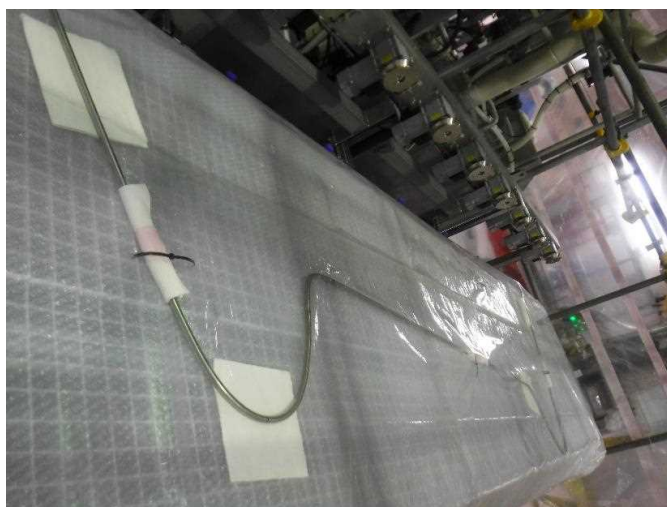


上部タイプレート取り付け

\* 赤丸部分が曲げ戻した燃料棒



新燃料貯蔵庫に収納



2019年12月25日  
曲がり燃料棒



2020年4月24日  
曲げ戻した燃料棒

循環注水冷却スケジュール (1/2)

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定		4月							5月							6月							7月		8月		備考	
			19	26	3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	1	8	15	22	29									
循環注水冷却	原子炉関連	(実績) ・【共通】循環注水冷却中(継続)  ・【3号】CST炉注水ポンプ(B)電動機点検 ・CST炉注水ポンプ(B)停止:2020/5/12  ・【3号】CST炉注水ポンプ(A)メカニカルシール交換 ・CST炉注水ポンプ(A)停止:2020/5/13~15  (予定)	現場作業	【1, 2, 3号】循環注水冷却(滞留水の再利用) 【3号】CST炉注水ポンプ(B)停止 【3号】CST炉注水ポンプ(A)停止 原子炉・格納容器内の崩壊熱評価、温度、水素濃度に応じて、また、作業等に必要の条件に合わせて、原子炉注水流量の調整を実施																											
	海水腐食及び塩分除去対策	(実績) ・CST窒素注入による注水溶存酸素低減(継続) ・ヒドラジン注入中(2013/8/29~)  (予定)	現場作業	CST窒素注入による注水溶存酸素低減 ヒドラジン注入中																											
原子炉格納容器関連	原子炉格納容器関連	(実績)  ・【1号】サブプレッションチャンバへの窒素封入 -連続窒素封入へ移行(2013/9/9~)(継続)  (予定)	検討・設計・現場作業	【1, 2, 3号】原子炉圧力容器 原子炉格納容器 窒素封入中 【1号】サブプレッションチャンバへの窒素封入 窒素ガス分離装置(B):非待機中(2020/4/24~)																											
	PCVガス管理	(実績) ・【1号】PCVガス管理システム計装品点検手入工事 ・水素モニタ停止 A系:2020/4/21 ・水素モニタ停止 B系:2020/4/23  ・【1号】PCVガス管理システム水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 A系:2020/4/22  ・【1号】PCVガス管理システム水素モニタ点検 ・水素モニタ停止 B系:2020/5/18  ・【1号】PCVガス管理システムダストサンプリング ・希ガスモニタ、水素モニタ停止 A系:2020/5/19  ・【2号】PCVガス管理システム計装品点検手入工事 ・希ガスモニタ停止 A系:2020/5/18 ・希ガスモニタ停止 B系:2020/5/19  ・【3号】PCVガス管理システム計装品点検手入工事 ・希ガスモニタ停止 A系:2020/5/20 ・希ガスモニタ停止 B系:2020/5/21  (予定) ・【1号】1号機PCV内部調査アクセスルート構築作業(AWJ) ・PCV減圧:2020/4/14~6/下号  ・【2号】PCVガス管理システム計装品点検手入工事 ・希ガスモニタ停止 A系:2020/6/16,17 ・希ガスモニタ停止 B系:2020/6/18,19  ・【3号】PCVガス管理システム計装品点検手入工事 ・希ガスモニタ停止 A系:2020/6/23,24 ・希ガスモニタ停止 B系:2020/6/25,26	現場作業	【1, 2, 3号】継続運転中 【1号】水素モニタA停止 【1号】水素モニタB停止 【1号】水素モニタA停止 【1号】水素モニタB停止 【1号】水素・希ガスモニタA停止 【2号】希ガスモニタA停止 【2号】希ガスモニタB停止 【3号】希ガスモニタA停止 【3号】希ガスモニタB停止 【1号】PCV減圧 実施時期調整中 【2号】希ガスモニタA停止 【2号】希ガスモニタB停止 【3号】希ガスモニタA停止 【3号】希ガスモニタB停止																											

循環注水冷却スケジュール (2/2)

区分 括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月		5月				6月			7月	8月	備考		
			19	26	3	10	17	24	31	7	14	下	上		中	下
使用済燃料プール 関連	使用済燃料プール 循環冷却	(実績) ・【共通】循環冷却中(継続)  (予定) ・【1号】SFP養生設置 ・SFP一次系停止：2020/5/29 ~ 2020/6/18 ・SFP水位低下：2020/5/30 ~ 2020/6/18	【1, 2, 3号】循環冷却中													
	使用済燃料プール への注水冷却	(実績) ・【共通】使用済燃料プールへの非常時注水手段として コンクリートポンプ車等の現場配備(継続)	【1, 2, 3号】蒸発量に応じて、内部注水を実施													
	海水腐食及び 塩分除去対策 (使用済燃料プール 薬注&塩分除去)	(実績) ・【共通】プール水質管理中(継続)	【1, 2, 3, 4号】ヒドラジン等注入による防食													
			【1, 3号】コンクリートポンプ車等の現場配備													
			【1, 2, 3, 4号】プール水質管理													

追加  
 【1号】SFP一次系停止  
 【1号】SFP水位低下

使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月							5月							6月							7月							8月							備考
				19	26	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下	前	後	7	14	下	上	中	下	前	後	7	14	下	上	中	下	前	後					
カバ	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	1号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・ガレキ撤去 ・SFP周辺小ガレキ撤去 ・FHM下部支障物撤去 ・SFPゲートカバー設置  (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・ガレキ撤去 ・SFP周辺小ガレキ撤去 ・SFP養生設置(準備作業含)	検討・設計	燃料取り出し設備、大型カバーの検討・設計																												【主要工程】 ○ガレキ撤去 ・ガレキ撤去：'18/1/22~ ・Xブレース撤去：'18/9/19~'18/12/20 ・機器ハッチ養生：'19/1/11~'19/3/6 ・屋根鉄骨分断：'19/2/5~'19/2/22 ・SFP周辺小ガレキ撤去：'19/3/18~ ・ウェルブラグ調査：'19/7/17~'19/8/26 ・SFP内干渉物等調査：'19/8/2、'19/9/4~6 9/20、27 ・ウェルブラグ上のH鋼撤去：'19/8/28 ・FHM下部支障物撤去：'20/3/3~'20/3/14 ・SFPゲートカバー設置：'20/3/16~'20/3/18 ・SFP養生設置(準備作業)：'20/3/20~'20/5/28 ・SFP養生設置(循環停止)：'20/5/29 ・SFP養生設置(SFP水位低下作業)：'20/5/30~'20/6/18 ・SFP養生設置(SFP水位回復、循環再開)：'20/6/18 【規制庁関連】 ・オペレーティングフロア床上ガレキの一部撤去等 実施計画変更認可(2019/3/1) ※○番号は、別紙配置図と対応							
			現場作業	①現地調査等('13/7/25~) ②作業ヤード整備等 ③ガレキ撤去 SFP養生設置(準備作業) SFP養生設置 ④SFP周辺小ガレキ撤去(西側)																																			
			検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計																																			
カバ	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	2号機 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・オペレーティングフロア 残置物移動・片付け(その4) ・SFP内調査  (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・南側ヤード干渉物撤去 ・オペレーティングフロア 残置物移動・片付け(その4) ・SFP内調査	検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計																												【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：'19/10/31 ・ヤード整備工事：'15/3/11~'16/11/30 ・西側構台設置工事：'16/9/28~'17/2/18 ・前室設置工事：'17/3/3~'17/5/16 ・屋根保護層撤去(遠隔重機作業)：'18/1/22~'18/5/11 ・オペレーティングフロア西側外壁開口：'18/4/16~'18/6/21 ・鉄骨トラス状況確認：'18/2/28~'18/3/17 ・オペレーティングフロア調査：'18/6/25~'18/7/18 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け：'18/8/23~'18/11/6 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け後調査と片付け：'18/11/14~'19/2/28 ・西側構台設備点検：'19/2/13~'19/3/26 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その2)：'19/3/25~'19/8/27 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その3)：'19/9/10~'20/2/25 ・SFP内調査：'20/4/下~'20/7/上(訓練：'20/5/11~'20/5/18) ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その4)：'20/3/2~'20/10/下 【規制庁関連】 ・西側外壁開口設置 実施計画変更認可(2017/12/21) ※○番号は、別紙配置図と対応							
			現場作業	⑤現地調査等 ⑥オペレーティングフロア残置物移動・片付け 残置物移動・片付け(その4) 搬出作業習熟訓練 ⑦SFP内調査 現場作業準備・モックアップ訓練 SFP内調査 現場片付け 南側ヤード干渉物撤去 コンテナ搬出																																			
			検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計																																			
周辺環境	1/2号機共用排気筒解体	(実績) ・排気筒解体工事  (予定) ・排気筒解体工事	検討・設計	-																												【主要工程】 ・実証試験：'18/8/28~'19/4/2 ・準備工事：'18/12/3~'19/7/31 ・排気筒事前調査：'19/4/2~'19/4/18 ・排気筒解体工事：'19/8/1~'20/5/1 【規制庁関連】 ・1/2号機排気筒解体 実施計画変更認可('19/2/27)							
			現場作業	解体工事 ヤード片付																																			
			検討・設計	-																																			
周辺環境	海洋汚染防止対策等	(実績) ・1/2Rw/B床面清掃  (予定) ・1/2Rw/B床面清掃 ・浄化材製作 ・1/2Rw/B屋根ガレキ撤去	検討・設計	2号機Rw/B床面清掃等																												【主要工程】 ・準備工事(作業ヤード整備等)：'18/10/18~'19/3/24 ・2号機T/B下屋ガレキ等撤去：'19/3/25~'19/10/31 ・2号機R/B下屋ガレキ等撤去：'19/11/1~'20/3/7 ・1/2号機Rw/B床面清掃：'20/2/25~ ・1/2号機ガレキ撤去：'20/5/11~							
			現場作業	浄化材製作・設置 2号機Rw/B屋根ガレキ撤去																																			
			検討・設計	-																																			

使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月							5月			6月			7月			8月			備考
				19	26	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下	前	後					
使用済燃料プール対策	燃料取扱設備	クレーン/燃料取扱機の設計・製作 プール内ガレキの撤去、燃料調査等	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計	燃料取り出し設備、大型カバーの検討・設計																【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：2014年10月 →プール燃料取り出しに特化したプランを選択 ・ガレキ撤去計画継続検討 ・燃料取り出し計画の選択：'19/12/19		
				現場作業																			
				検討・設計	燃料取り出し設備、燃料取り出し用構台の検討・設計																	【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：'19/10/31	
燃料取扱設備	燃料取扱設備	クレーン/燃料取扱機のメンテナンス等検討 (実績) ・クレーン/燃料取扱機のメンテナンス等検討 ・ガレキ撤去 ・燃料取り出し ・燃料取扱設備点検 ・追加訓練 (予定) ・ガレキ撤去 ・追加訓練 ・燃料取り出し	検討・設計	クレーン/燃料取扱機のメンテナンス等検討																【主要工程】 ○クレーン/燃料取扱機等設置点検： ・燃料取扱設備点検：'20/3/30~'20/4/26 ○燃料取り出しおよびガレキ撤去作業： ・訓練、ガレキ撤去：'19/3/15~ ・燃料取り出し：'19/4/15~ ・追加訓練：'20/4/27~ 【規制庁関連】 ・3号機燃料取り出し、燃料の取り扱い及び構内用輸送容器実施計画変更認可申請（2018/3/27） 実施計画変更認可申請の一部補正（2019/2/15） 実施計画変更認可申請の認可（2019/3/12） ・3号機プール内小ガレキ撤去、エリアモニタ、ダストモニタ実施計画変更認可申請の一部補正（2018/4/13）、認可（6/8） ・3号機損傷・変形等燃料用輸送容器実施計画変更認可申請（2019/8/20）			
			現場作業	3号機燃料取扱設備点検	⑧燃料取り出しおよびガレキ撤去作業 ガレキ撤去・燃料健全性確認							最新工程反			燃料取り出し								
			現場作業	追加訓練																			
共用プール	燃料受け入れ	(実績) ・共用プール設備点検 ・燃料ラック取替 (予定) ・燃料ラック取替 ・3号機燃料受け入れ	現場作業	共用プール燃料取扱設備点検							燃料ラック取替			3号機燃料受け入れ						【主要工程】 ○共用プール設備点検： ・クレーン点検：'20/3/30~'20/4/4 ・燃料取扱設備点検：'20/4/1~'20/4/28 ・燃料ラック取替：'20/4/20~ 【規制庁関連】 ・共用プール損傷・変形等燃料ラック実施計画変更認可申請（2019/7/11） 実施計画変更申請の認可（2020/4/8）			

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月	5月					6月			7月			8月	備考
				26	3	10	17	24	31	7	14	下	上	中	下	休	
原子炉建屋内環境改善	原子炉建屋内の環境改善	1号	(実績) なし (予定) なし	検討・設計 現場作業													
		2号	(実績) なし (予定) なし	検討・設計 現場作業													
		3号	(実績) ○建屋内環境改善(継続) (予定) ○建屋内環境改善(継続)	検討・設計 現場作業													
燃料デブリ取り出し準備	燃料デブリ取り出し準備	格納容器内水循環システムの構築	1号	(実績) なし (予定) なし													
		2号	(実績) なし (予定) なし	現場作業													
		3号	(実績) なし (予定) なし														
燃料デブリ取り出し	燃料デブリの取り出し	1号	(実績) ○原子炉格納容器内部調査(継続) (予定) ○原子炉格納容器内部調査(継続)	検討・設計 現場作業													
		2号	(実績) なし (予定) なし	検討・設計 現場作業													
		3号	(実績) なし (予定) なし	現場作業													

汚染水対策スケジュール (1/2)

分野	括り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月							5月							6月		7月	備考												
			22	29	1	5	12	19	26	3	10	17	下	上	中	下	後															
中長期課題 汚染水対策分野	建屋滞留水処理	【1, 2号機 滞留水移送装置設置】 【3, 4号機 滞留水移送装置設置】 (実績) ・穿孔・地下降干渉物撤去 ・架台・配管・ポンプ設置	現場作業																												2020年1月30日 1~4号機建屋滞留水移送装置の追設の実施計画変更認可 (原規規発第2001303号)	
		【1~4号機滞留水浄化設備】 (実績) ・【1~4号機】建屋滞留水浄化 運用中	現場作業																												2020年1月30日 1~4号機建屋滞留水移送装置の追設の実施計画変更認可 (原規規発第2001303号)	
	浄化設備	【既設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (A・B・C系統) ・処理停止 (A・B・C系統) (予定) ・処理運転 (A・B・C系統)	定例点検のため処理停止	A系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) B 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) C系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																												処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止
		【高性能多核種除去設備】 (実績・予定) ・処理運転	現場作業																												処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止	
		【増設多核種除去設備】 (実績) ・処理運転 (A・B・C系統) ・処理停止 (C系統) 塩酸供給ポンプ修理のため (予定) ・処理運転 (A・B・C系統)	塩酸供給ポンプ修理のため処理停止	A系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) B系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止) C系 処理運転 (処理水の状況に応じて適宜運転または処理停止)																												※処理水及びタンクのインサービス状況に応じて適宜運転または処理停止 ※9/14に使用前検査 (除去性能確認) を受検、使用前検査終了証を受領した2017年10月16日よりホット試験から本格運転へ移行 (運転状態・除去性能はホット試験中と変わらず) 2017年10月12日付 増設多核種除去設備使用前検査終了証受領 (原規規発第1710127号)
		【サブドレン浄化設備】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業																												サブドレン汲み上げ、運用開始 (2015.9.3~) 排水開始 (2015.9.14~)	
	陸側遮水壁	【5/6号機サブドレンの復旧】 (実績) サブドレン設備復旧方針検討 (予定) サブドレン設備復旧方針検討	検討・設計																													
		【第三セシウム吸着装置】 (実績) ・処理運転 (予定) ・処理運転	現場作業																												2017年7月28日 除染装置関連設備撤去の実施計画変更認可 (原規規発第1707283号) 2017年9月28日 第三セシウム吸着装置設置の実施計画変更認可 (原規規発第1709285号) 第三セシウム吸着装置設置コールド試験完了 (H30. 7月) 2019年1月28日 第三セシウム吸着装置使用前検査終了証受領 (原規規発第1901286号) 2019年7月12日運用開始	
	H4エリアNo. 5 タンクからの漏えい 対策	(実績・予定) ・未凍結箇所補助工事は2018年9月に完了 ・維持管理運転2019年2月21日全域展開完了	現場作業																												2016年3月30日 陸側遮水壁の閉合について実施計画変更認可 (原規規発第1603303号) 2016年12月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (原規規発第1612024号) 2017年3月2日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (未凍結箇所4箇所の閉合: 原規規発第1703023号) 2017年8月15日 陸側遮水壁の一部閉合について実施計画変更認可 (未凍結箇所1箇所の閉合: 原規規発第1708151号)	
		(実績・予定) ・汚染の拡散状況把握	現場作業																													



汚染水対策スケジュール (2/2)

分野	括り	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	4月							5月				6月	7月	備考			
			22	29	1	5	12	19	26	3	10	17	下	上	中		下	後	
汚染水対策分野	中長期課題	<p>処理水受タンク増設</p> <p>(実績・予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>追加設置検討(タンク配置)</li> <li>Bフランジタンクリプレース工事(雨水カバー設置)</li> <li>H5フランジタンクリプレース工事(タンク堰構築・雨水カバー設置)</li> <li>H6フランジタンクリプレース工事(タンク堰構築・雨水カバー設置)</li> <li>H3フランジタンクリプレース工事(タンク堰構築・雨水カバー設置)</li> <li>G6フランジタンクリプレース工事(雨水カバー設置)</li> <li>G4南フランジタンクリプレース工事(タンク堰構築)</li> <li>Cフランジタンクリプレース工事(タンク解体)</li> <li>Eフランジタンクリプレース工事(タンク解体)</li> <li>G1横置きタンクリプレース工事(タンク堰構築)</li> <li>G4北エリアタンクリプレース工事(タンク解体)</li> <li>G5エリアタンクリプレース工事(タンク解体)</li> <li>G1エリアタンク設置</li> <li>G4南エリアタンク設置</li> </ul>	設計検討	→															
			現場作業	Bフランジタンクリプレース工事(雨水カバー設置)													2016年12月8日 Bエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	H5フランジタンクリプレース工事(タンク堰構築・雨水カバー設置)													2016年12月8日 H5エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	H6フランジタンクリプレース工事(タンク堰構築・雨水カバー設置)													2018年2月14日 H5北エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	H3フランジタンクリプレース工事(タンク堰構築・雨水カバー設置)													2016年12月8日 H6エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G6フランジタンクリプレース工事(雨水カバー設置)													2017年10月30日 G6エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G4南フランジタンクリプレース工事(タンク堰構築)													2018年7月5日 G4南エリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	Cフランジタンクリプレース工事(タンク解体)													2019年2月15日 Cエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	Eフランジタンクリプレース工事(タンク解体)													2018年9月10日 Eエリアにおける中低濃度タンクの撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G1横置きタンクリプレース工事(タンク堰構築)													2017年10月17日 G1エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G4北フランジタンクリプレース工事(タンク解体)													2019年12月17日 G4北・G5エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G5フランジタンクリプレース工事(タンク解体)													2019年12月17日 G4北・G5エリアにおける高濃度タンクおよび中低濃度タンク撤去等について 実施計画変更認可		
			現場作業	G1エリアタンク設置							▼(4,068m3)(3基)				▼(5,424m3)(4基)	▼(4,068m3)(3基)	▼(2,712m3)(2基)	(4,068m3)(3基)▼ (2,712m3)(2基)▼	2019年8月2日 G1・G4南エリアタンク設置について実施計画認可(原規規第1908024号) G1エリア 1356m3(66基) G1使用前検査済み(30/66基)
			現場作業	G4南エリアタンク設置							▼(1,356m3)(1基)				▼(2,712m3)(2基)	▼(1,356m3)(1基)	▼(2,712m3)(2基)	2019年8月2日 G1・G4南エリアタンク設置について実施計画認可(原規規第1908024号) G4南エリア 1356m3(26基) G4南使用前検査済み(4/26基)	
			2.5m盤の地下水移送		<p>(予定・実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地下水移送(1-2号取水口間)(2-3号取水口間)(3-4号取水口間)</li> </ul> <p>(実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;3号機T/B屋根&gt;</li> <li>11/26 屋上ガレキ吸引開始</li> </ul>	現場作業	1、2号機海側ヤードエリア(路盤舗装等)												
現場作業	1~4号機周辺フェンシング													3号機海側:~2018年7月12日完了					
津波対策		<p>○千島海溝津波対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防犯堤設置</li> </ul> <p>(実績) 既設設備撤去・移設、造成嵩上げ、L型擁壁設置 約400m完了(全長600m)(4月23日時点)</p> <p>(予定) 造成嵩上げ、L型擁壁設置、ボックスカルバート設置</p>	現場作業	防犯堤設置													工事開始(2019年7月29日) L型擁壁の据え付け開始(2019年9月23日) 防犯堤設置2020年度上期完了予定 防犯堤L型擁壁据付 398m/600m(2020年4月23日)		
			現場作業	【区分④】1~3R/B扉等													【区分①②】1~3T/B等2019年3月、全67箇所完了 【区分③】2、3R/B外部のハッチ等(2019年3月~2020年3月、全20箇所完了)		
			現場作業	【区分⑤】1~4Rw/B、4R/B、4T/B扉等													【区分④】1~3R/B扉等(2019年9月~2020年12月、3箇所/14箇所完了) 【区分⑤】1~4Rw/B、4R/B、4T/B(2020年3月~2022年3月、1箇所/21箇所完了)		
現場作業	▼4/3 内部充填作業開始													<p>○3.11津波対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メカフロート移設</li> </ul> <p>(実績) 着底マウンド造成:100%、バラスト水処理:100%、内部除染作業:100% メカフロート移設・仮着底:100% 内部充填作業(約15%) (4月23日時点)</p> <p>(予定) 内部充填作業、護岸ブロック製作</p>	<p>着底マウンド造成:2019年5月20日開始、2020年2月7日完了</p> <p>バラスト水処理:2019年5月28日開始、2020年2月20日完了 内部除染:2019年7月16日開始、2020年2月26日完了</p> <p>メカフロート移設・仮着底:2020年3月4日完了 内部充填:2020年4月3日開始、7月下旬完了予定</p>				



福島第一原子力発電所の滞留水の水位について  
(2020年5月15日～2020年5月21日)

2020年5月22日  
東京電力ホールディングス株式会社

	原子炉建屋水位				タービン建屋水位				廃棄物処理建屋水位				集中廃棄物処理施設水位			
	1号機	2号機	3号機		4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	1号機	2号機	3号機	4号機	プロセス 主建屋	高温焼却炉 建屋	サイトバンカ 建屋
			ポンプエリア	南東エリア												
5月15日	-1877	-1784	-2082	-2042	-2789	-	-1311	-1570	-1479 以下	-	-1611 以下	-1252	-1519 以下	572	423	2703
5月16日	-1880	-1758	-2087	-2235	-2781	-	-1312	-1582	-1479 以下	-	-1611 以下	-1251	-1519 以下	524	425	2703
5月17日	-1878	-1763	-2087	-2102	-2811	-	-1308	-1522	-1479 以下	-	-1611 以下	-1251	-1519 以下	454	426	2703
5月18日	-1877	-1756	-2089	-2308	-2791	-	-1305	-1517	-1479 以下	-	-1611 以下	-1251	-1519 以下	377	426	2703
5月19日	-1855	-1788	-2021	-2161	-2801	-	-1302	-1488	-1479 以下	-	-1611 以下	-1250	-1519 以下	400	493	2703
5月20日	-1860	-1765	-1884	-2273	-2801	-	-1291	-1303	-1479 以下	-	-1471	-1151	-1519 以下	499	500	2702
5月21日	-1866	-1765	-1870	-2282	-2786	-	-1303	-1224	-1479 以下	-	-1416	-1180	-1519 以下	635	508	2702
最下階床面高さ	-2666	-4796	-4796		-4796	443	-1752	-1737	-1739	-36	-1736	-1736	-1736	-2736	-2236	-

備考欄

- ※ T.P.表記(単位:mm)
- ※ 5時時点の水位
- ※ 1号機タービン建屋の滞留水除去完了(2017年3月)
- ※ 1号機廃棄物処理建屋は水位計の測定下限値以下まで水位低下(2018年7月)
- ※ サイトバンカ建屋水位は、流入量調査のため一時的に水位計の測定下限値以下まで水位低下(2019年4月16日～)
- ※ 3号機原子炉建屋水位は、南東三角コーナー水位が停滞している事から水位変動を監視するため一時的に記載(2019年7月5日～)
- ※ 4号機タービン建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2019年12月27日～)
- ※ 4号機廃棄物処理建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下したため記載を変更(2020年1月17日～)
- ※ 2号機廃棄物処理建屋水位は、水位計測定下限以下に水位低下した期間について記載を変更(2020年5月13日～2020年5月19日)

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>*1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>*1, 11, 12</sup>	管理方法		主要核種
							実施内容 <sup>*9</sup>	頻度	
第三章 第1編 39条 第2編 87条の2	瓦礫類	<ul style="list-style-type: none"> <li>地震、津波、水素爆発により飛散した瓦礫</li> <li>フォールアウトにより汚染した設備・資機材で廃棄する物（建屋、制御盤、廃車両等）</li> <li>設備の点検・工事により発生する交換品等（ポンプ、バルブ、配管、フランジタンク等）</li> <li>設備運転に伴い発生する消耗品等（空調フィルタ等）</li> <li>工事等のため構内に持ち込んだ消耗品（梱包材、型枠、セメント用空袋等）</li> <li>回収した土壌</li> </ul>	屋外	・屋外集積【～0.1mSv/h】	209,700 m <sup>3</sup> [ +3,400 m <sup>3</sup> ]	266,500 m <sup>3</sup> ( 298,350 m <sup>3</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>人が容易に立ち入れないよう区画</li> <li>巡視を行い、容器の転倒、落下や養生シートに破れがないこと、その他異常が無いことを確認</li> </ul>	週1回	Cs-137 Cs-134 等 <sup>*7</sup>
				・シート養生【～1mSv/h】	42,700 m <sup>3</sup> [ +500 m <sup>3</sup> ]	71,000 m <sup>3</sup> ( 79,400 m <sup>3</sup> )			
				・覆土式一時保管施設、容器収納【1mSv/h～30mSv/h】	17,900 m <sup>3</sup> [ +300 m <sup>3</sup> ]	24,600 m <sup>3</sup> ( 38,550 m <sup>3</sup> )			
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納	21,800 m <sup>3</sup> [ +1,200 m <sup>3</sup> ]	45,600 m <sup>3</sup> ( 80,000 m <sup>3</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>槽内の溜まり水の有無を確認（覆土式一時保管施設）</li> </ul>	週1回	
	瓦礫類の合計		292,000 m <sup>3</sup> [ +5,300 m <sup>3</sup> ]	407,600 m <sup>3</sup> ( 496,300 m <sup>3</sup> )					
	使用済保護衣等	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイベック</li> <li>下着類</li> <li>ゴム手袋</li> <li>その他保護衣、保護具</li> </ul>	屋外	・容器収納	46,400 m <sup>3</sup> [ -800 m <sup>3</sup> ]	68,300 m <sup>3</sup> ( 74,500 m <sup>3</sup> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>煙、水蒸気、濁り水（黒・茶色）・空気の揺らぎが発生していないこと（屋外集積の伐採木）</li> </ul>	週1回 <sup>*3</sup>	
			建屋	・袋詰め					
	伐採木	<ul style="list-style-type: none"> <li>枝葉根</li> <li>幹根</li> </ul>	屋外	・伐採木一時保管槽	37,300 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]	41,600 m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採木一時保管槽における温度監視</li> <li>保管量を確認し、保管容量が確保されていることを確認</li> </ul>	週1回 <sup>*3</sup>	
				・屋外集積	400 m <sup>3</sup> [ +100 m <sup>3</sup> ]	6,000 m <sup>3</sup>			
				96,600 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]	128,000 m <sup>3</sup>				
			伐採木の合計		134,300 m <sup>3</sup> [ +100 m <sup>3</sup> ]	175,600 m <sup>3</sup> ( 175,600 m <sup>3</sup> )			
	第三章 第1編 40条	水処理二次廃棄物（水処理により放射性物質を濃縮した廃棄物）	凝集沈殿物	廃スラッジ貯蔵施設	・造粒固化体貯槽【除染装置】	417 m <sup>3</sup> [ -180 m <sup>3</sup> ]	700 m <sup>3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>免震重要棟にて液位を監視し、漏えいの有無を監視</li> </ul>	
使用済セシウム吸着塔一時保管施設				・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約13mSv/h）	3,445 本 [ +66 本 ]	4,192 本 [ 0 本 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>人が容易に立ち入れないよう区画</li> <li>空間線量率を測定し表示</li> </ul>		
			・HIC【多核種除去設備、増設多核種除去設備】（最大約23mSv/h）						
			・吸着塔【第二セシウム吸着装置、第三セシウム吸着装置、高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約1.2mSv/h）	344 本 [ +5 本 ]	584 本 [ 0 本 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>巡視を行い、コンクリート製ボックスカルバート等に異常が無いことを確認</li> </ul>			
			・処理カラム【多核種除去設備】（最大約0.2mSv/h）						
			・吸着塔【セシウム吸着装置、モバイル式処理装置、モバイル型Sr除去装置、第二モバイル型Sr除去装置、サブドレン他浄化装置、高性能多核種除去設備検証試験装置】（最大約250mSv/h）	970 本 [ +2 本 ]	1,596 本 [ 0 本 ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>貯蔵量を確認し、貯蔵可能容量が確保されていることを確認</li> </ul>			
			・容器収納【モバイル型Sr除去装置】（最大約0.5mSv/h）						
フィルタ			屋外	・容器収納【高性能多核種除去設備、RO濃縮水処理設備】（最大約0.5mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様		
			固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【サブドレン他浄化設備】 ・容器収納【雨水処理設備等】（1mSv/h未満）					
RO装置のフィルタ類			屋外	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様		
樹脂	固体廃棄物貯蔵庫	・容器収納【SFP塩分除去装置】（最大十数mSv/h） ・容器収納【雨水処理設備等】（最大2mSv/h）	瓦礫類に含む		瓦礫類と同様				

福島第一原子力発電所における固体廃棄物について

実施計画 記載箇所	大分類	小分類	保管場所	保管形態	保管量 <sup>※1, 11, 12</sup>	保管容量 <sup>※1, 11, 12</sup>	管理方法		主要 核種
							実施内容 <sup>※9</sup>	頻度	
第三章 第1編 38条 第2編 87条	放射性固 体廃棄物 等	・震災前に発生した放射性固体廃棄物	固体廃棄 物貯蔵庫	・ドラム缶収納	ドラム缶 175,661 本	ドラム缶 (約252,700本相 当)	・巡視による保管状況の確認及び保管量 の確認	月1回	Co-60 等
				・その他	ドラム缶 10,155 本			月1回	
				・震災後に発生した放射性固体廃棄物 (焼却灰等)	・ドラム缶収納			1,783 本 [ +88 本 ]	
		・使用済制御棒等	サイトバ ンカ	・水中保管	12,125 本 193 m <sup>3</sup> <sup>※4</sup>	—	・事故前の保管量の推定値を元に保管物 の確認	3ヶ月に1 回	
							・プール水位の確認	月1回	
		・イオン交換樹脂、造粒固化体	タンク等	・タンク等に貯蔵	3,532 m <sup>3</sup> <sup>※5</sup>	—	・貯蔵量の確認 <sup>※8</sup>	3ヶ月に1 回	
・使用済制御棒等	使用済燃 料プール	・水中貯蔵	11,422 本 <sup>※6</sup>	—	・使用済燃料共用プールの巡視	月1回			
					・使用済燃料共用プールの貯蔵量の確認	3ヶ月に1 回			
— <sup>※10</sup>	瓦礫等	・金属がら、コンクリートがら等	屋外	・屋外集積、シート養生、容器収納、容器収納の上 シー ト養生	—	8,500 m <sup>3</sup> [ 1,300 m <sup>3</sup> ]	・人が容易に立ち入れないよう区画 ・空間線量率を測定し表示	—	Cs-134 Cs-137 等
			建屋	・屋内集積、容器収納	—	5,400 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]			
		・回収した土壌	屋外	・容器収納、フレコンパックに収納の上 シート養生	—	1,300 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]			
	水処理二 次廃棄物	・樹脂、ゼオライト、RO膜等	屋外	・容器収納、容器収納の上 シート養生	—	200 m <sup>3</sup> [ 0 m <sup>3</sup> ]			Cs-137 Cs-134 Sr-90等
仮設集積の合計					—	15,400 m <sup>3</sup> [ 1,300 m <sup>3</sup> ]			

※1 瓦礫類、使用済保護衣等、伐採木、仮設集積物、震災後に発生した放射性固体廃棄物（焼却灰）は2020年3月31日現在、水処理二次廃棄物は2020年5月7日現在の保管量及び保管容量である。尚、瓦礫類、使用済保護衣等及び伐採木の下段に括弧書きで記載している保管容量は、実施計画（2019年1月28日認可）に記載している保管容量である。

※2 屋外集積及びシート養生の瓦礫類、使用済保護衣等、並びに屋外集積の伐採木は、3ヶ月に1回。

※3 6月～9月は、1週間に3回。

※4 2019年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：1,167本、チャンネルボックス：9,818本、ヒューエルサポート：3本、中性子検出器：1,137本、その他（シュラウド切断片等）：193m<sup>3</sup>。

※5 2019年3月末時点の保管量。内訳は、イオン交換樹脂：2,384m<sup>3</sup>、造粒固化体：1,148m<sup>3</sup>。

※6 2019年3月末時点の保管量。内訳は、制御棒：281本、チャンネルボックス：10,539本、ポイズンカーテン：173本、ヒューエルサポート：54本、中性子検出器：375本。

※7 廃棄物の処理・処分に必要となる、廃棄物の性状把握のため、汚染水、瓦礫類、伐採木及び立木について、放射能濃度分析を実施しており、今後も継続する。分析した試料の中には、C-14（半減期：約5.7×10<sup>3</sup>年）、Ni-63（半減期：約1.0×10<sup>2</sup>年）、Se-79（半減期：約1.1×10<sup>6</sup>年）、Tc-99（半減期：約2.1×10<sup>5</sup>年）、I-129（半減期：約1.6×10<sup>7</sup>年）等が検出されているものがある。

※8 1～4号機廃棄物処理建屋等の水没や高線量の理由によりアクセスできないタンクについてはこの限りではない。

※9 アンダーラインの実施内容は、実施計画（2019年1月28日認可）に未記載。

※10 仮設集積しているのは、伐採木、土壌、水処理二次廃棄物等であり、DA-54・1F-R9-001 瓦礫等管理要領に基づき、ロープや柵等の区画を行い、立ち入りを制限する標識を掲示する措置を講じている。また、保管量については集積する最大の量である。

※11 [ ]は、前回報告値との差を示している。

※12 端数処理により、合計値が合わないことがある。

ガレキの保管量の現状（2020年3月31日時点）

屋外集積（0.1mSv/h以下）対象エリアの保管量

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 <sup>※4</sup> (m <sup>3</sup> )	保管量 <sup>※1</sup> (m <sup>3</sup> )	前回比 <sup>※2</sup> (m <sup>3</sup> )
≦0.001	AA	36,400	13,100	+1,000
≦0.005	A2	9,500	— <sup>※5</sup>	— <sup>※5</sup>
	J	8,000	6,200	0
≦0.01	A1	4,300	— <sup>※5</sup>	— <sup>※5</sup>
	B	5,300	5,300	0
	C	31,000	31,000	0
≦0.025	C	31,300	31,100	-200
≦0.028	U	750	700	0
≦0.1	C	1,000	1,000	0
	F2	7,500	6,400	0
	N	10,000	9,600	0
	O	51,400	44,000	+500
	P1	64,050	54,700	+2,000
	V	6,000	6,000	+100
	合計	266,500	209,700 <sup>※6</sup>	+3,400

2020年3月末瓦礫類想定発生量 <sup>※3</sup> (m <sup>3</sup> )	265,100
--	---------

シート養生（1mSv/h以下）対象エリアの保管量

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 <sup>※4</sup> (m <sup>3</sup> )	保管量 <sup>※1</sup> (m <sup>3</sup> )	前回比 <sup>※2</sup> (m <sup>3</sup> )
≦0.5	D	4,500	2,600	0
≦1	E1	16,000	14,300	+100
	P2	9,000	5,800	0
	W1	23,000	9,700	0
	W2	6,300	2,400	+400
	X	12,200	7,900	0
	合計	71,000	42,700	+500

2020年3月末瓦礫類想定発生量 <sup>※3</sup> (m <sup>3</sup> )	70,100
--	--------

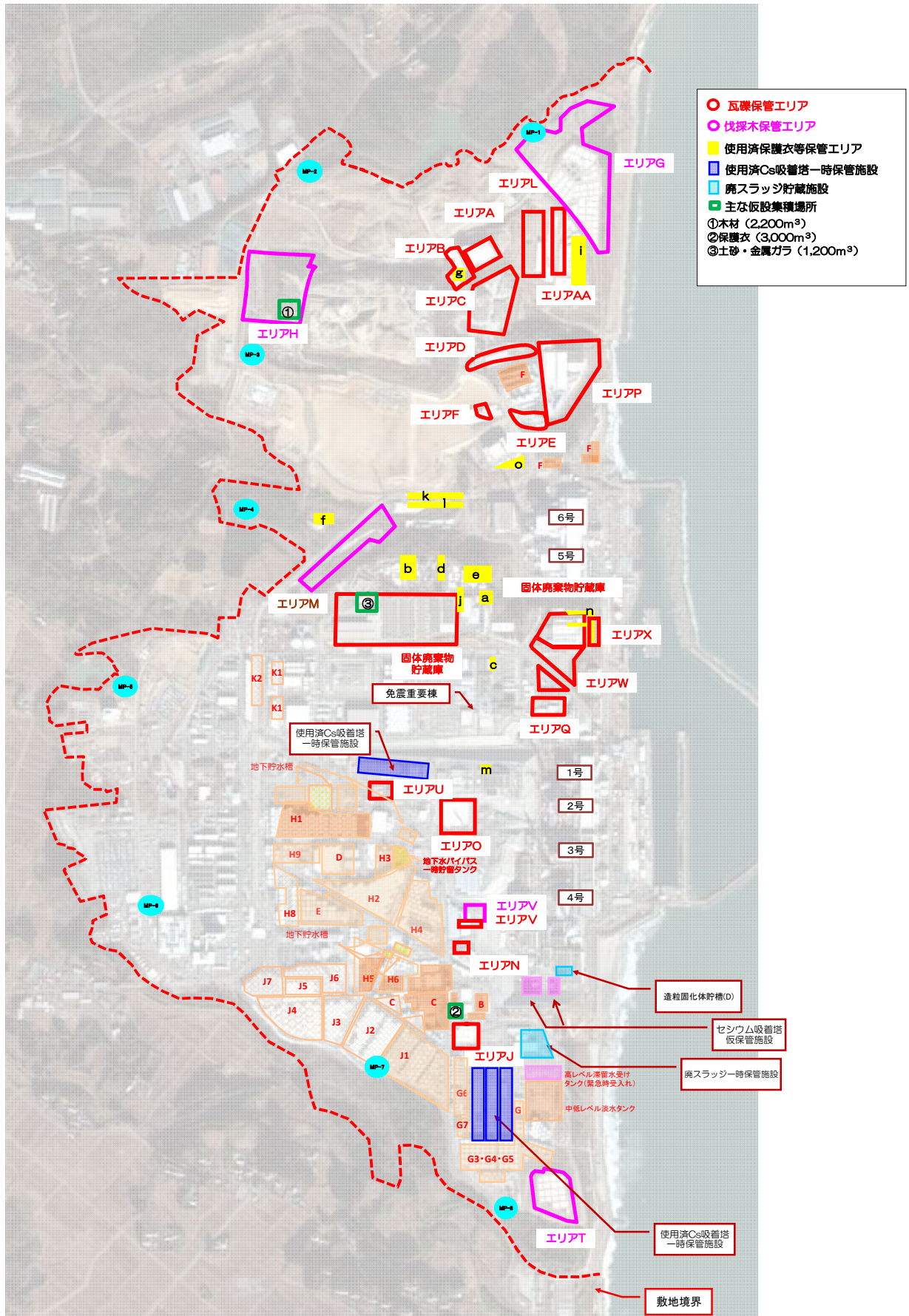
30mSv/h以下対象エリアの保管量

受入目安表面線量率 (mSv/h)	エリア名称	保管容量 <sup>※4</sup> (m <sup>3</sup> )	保管量 <sup>※1</sup> (m <sup>3</sup> )	前回比 <sup>※2</sup> (m <sup>3</sup> )
≦1.8	F1	650	600	0
≦5	Q	6,100	0	0
≦10	E2	1,800	1,200	+200
≦30	L	16,000	16,000	0
	合計	24,600	17,900	+300

2020年3月末瓦礫類想定発生量 <sup>※3</sup> (m <sup>3</sup> )	26,900
--	--------

- ※1 端数処理で100m<sup>3</sup>未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある
- ※2 100m<sup>3</sup>未満を端数処理しており、微増・微減とは100m<sup>3</sup>未満の増減を示す。
- ※3 瓦礫類の保管量（想定）は、実施計画（2019年1月28日認可）の予測値を示す。
- ※4 瓦礫類の保管容量は、運用上の上限を示す。
- ※5 エリアA1及びA2は低線量エリアとした（2020年1月6日認可）が、移行期間のため「-」と記載。
- ※6 エリアA1及びA2は1~30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。合計値には、この仮設集積分を含む。

# 福島第一原子力発電所 固体廃棄物等保管エリアの構内配置図



提供：日本スペースイメーシング（株）、©DigitalGlobe